

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	株式会社レオパレス21	都道府県	東京都
業種	不動産業、物品賃貸業	従業員数	6,494人
事業概要	アパート・マンション・住宅等の建築・賃貸管理及び販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	マニュアルをポータルサイトに掲示
テレワーク担当部署	ダイバーシティ推進室
テレワーク対象者	全て(一部営業系、ホテル・介護施設職員を除く)
実施者数	1,643人
実施日数	概ね週1~2回

テレワークの導入・拡大の経緯

2016年5月→育児・介護に従事する短時間勤務者(正社員)を対象にテレワークを開始しました。

2017年5月~2018年1月→トライアル開始

2018年6月→本格導入(対象範囲の拡大)

当社のテレワークの目的は「労働力減少・多様な人材の活用、確保・労働生産性の向上」といった社会的な背景に対し、『**①イノベーションを創出する時間・環境作り②労働生産性の向上③ワークライフバランスの充実**』を図ることで。

テレワークの概要・特徴

【テレワーク許可の判断基準】

役職や階層による制限を設けておらず、「業務を自律的・自主的に遂行し、会社と同等のパフォーマンスを発揮できると上長が判断し、かつテレワークでも業務に集中できる環境を整備できること」を条件として許可。

【情報漏洩リスクへの対応】

・テレワーク実施前に必ずE-Learningを受講し、事前に学習・テストを行う。
・仮想デスクトップへの二重ログインを行っており、端末本体に情報が残らない仕組みを構築。万が一端末を紛失しても、情報漏洩の可能性は低い。

【モバイルワーク】

契約書を紙から電子へシフトし、95%がペーパーレス契約となっている。

【今後の展開】

社内のスポットオフィス設置検討…全国広範囲に店舗がある強みを活かし、当社店舗の一部をテレワーク専用スペースとして設置し、営業社員が一時的に業務を行う簡易スペースを検討中

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

【時間外削減】

テレワーク導入後、時間外労働時間が減少

⇒導入前2016年3月期22.4時間

導入後2017年度20.0時間(-2.4)

2018年度18.2時間(-1.8) 導入後2期連続で減少

【女性社員の働きやすい環境づくり】

テレワークの普及等働きやすい環境づくりを行い、女性の育児休業からの復職率は97%(2018年度)

計41名(テレワーク可能な業務に従事する短時間勤務者の46.6%)が、1年間(2017.8月~2018.7月)で延べ1,268日(1人あたり年間31日)テレワークを実施。

【ワークライフバランスの充実】

テレワーク・デイズの実施に際して行ったアンケートでは、83.1%が“テレワークによりワークライフバランスの充実感を得られた”と回答。また、テレワーク・デイズ参加者のうち93.1%が“今後も定期的にテレワークを実施したい”と回答。